

教校部「和語聖教」山本攝叡

文字通り、和語で書かれた聖教全般の講読ですが、必要に応じて七祖の漢文なども取り上げていきます。漢文であっても、書き下し文にすると、それは和語聖教なのです。むしろ送り仮名を和語として精確に読めなければ、読み誤ってしまうこともあるからです。今（令和三年一月）は善導大師の『往生礼讃・序』を読んでいます。区切りがつけば、新年度からは、新しいものを取り上げようと思います。